

環境経営レポート 2023

“私たちは、CO₂ 排出ゼロを目指します”

期間：2022年12月～2023年11月

発行日：2024年1月31日



目次

1. 事業活動の概要
2. 対象範囲・対象期間及び組織
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境活動計画
6. 環境経営目標の達成状況と今後の取組み
7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果
8. 経営者による評価と見直し指示



KYOKKO TSUSHIN SYSTEM

1. 事業活動の概要

1) 事業者名及び代表者名

旭光通信システム株式会社 代表取締役 社長 酒井 元晴

2) 所在地

- ・本社 〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本 3-2-3 ガイビル1溝の口 4F
- ・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35
設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40
第二工場(BB) 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 2-100-6
- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アールビル 7F
- ・北海道営業所 〒060-0005 北海道札幌市中央区北 5 条西 5-2-12 住友生命札幌ビル 8F

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 原 正行

連絡先 電話 0178-20-5540 (代表) FAX 0178-20-5569

URL <http://www.kyokko-tsushin.co.jp> E-mail m.hara@kyokko-tsushin.co.jp

4) 創立年月及び資本金

設立：1946年6月 資本金：2,520万円

5) 事業内容

各種情報通信装置、機器のシステム開発・設計・製造並びに工事

6) 事業規模

項目	単位	2021年	2022年	2023年
		2020.12.1~2021.11.30	2021.12.1~2022.11.30	2022.12.1~2023.11.30
工場延べ床面積	m ²	2,430.46	2,430.46	3,646.98

2. 対象範囲・対象期間及び組織

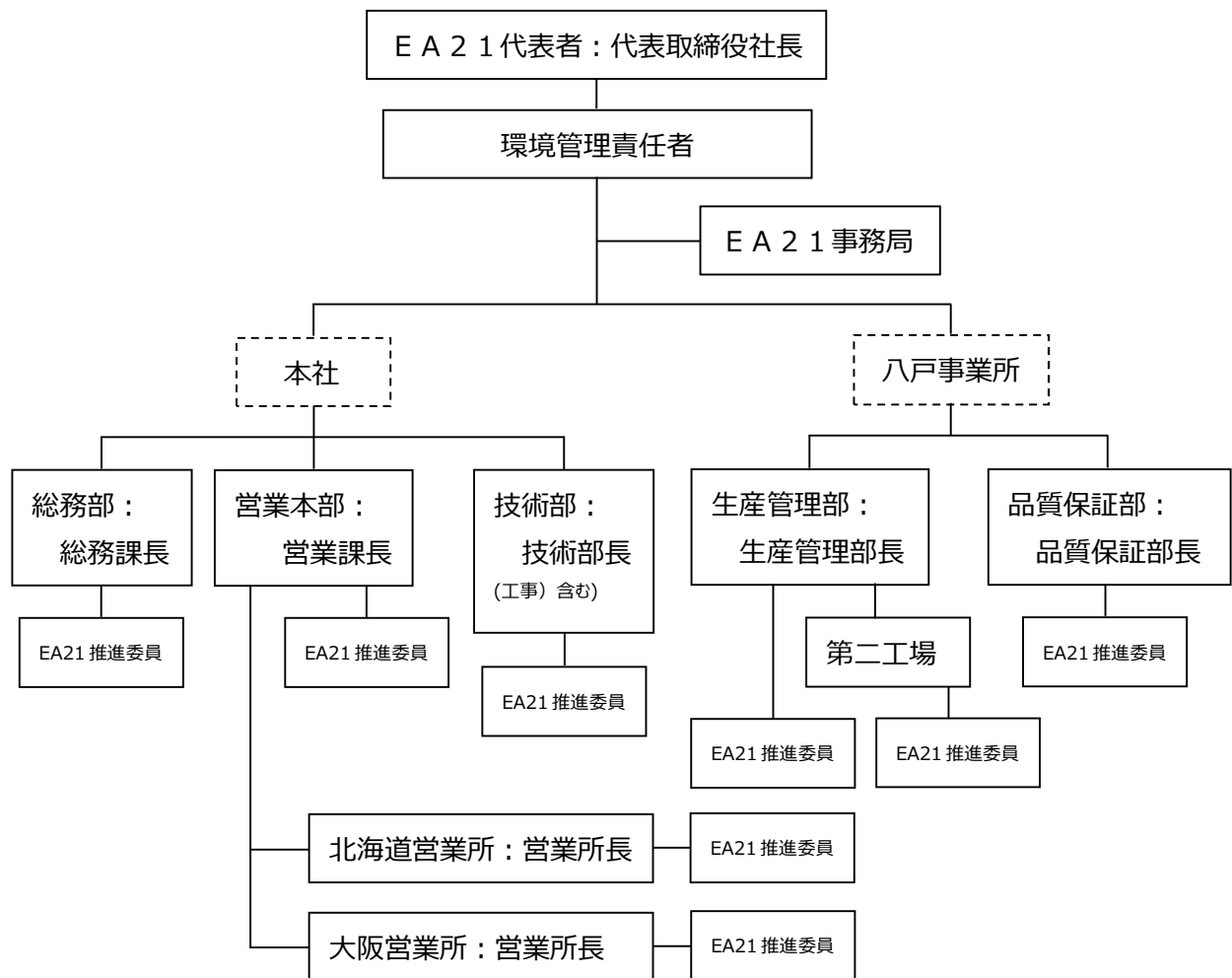
1) 対象範囲

- ・本社 〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本 3-2-3 ガイビル1溝の口 4F
- ・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35
設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40
第二工場 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 2-100-6
- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アールビル 7F
- ・北海道営業所 〒060-0005 北海道札幌市中央区北 5 条西 5-2-12 住友生命札幌ビル 8F

2) 環境経営レポート 対象期間

2022年12月1日 ~ 2023年11月30日

3) 組織及び責任者



4) 責任と権限

組織の対象者	役割・責任・権限
社長	①環境経営方針を策定する ②効果的で必要十分な実施体制を構築する ③環境管理責任者を任命する ④環境経営目標及び環境活動計画を承認する ⑤環境経営システムの運用に必要な資源を提供する ⑥環境経営システムの評価および見直しを指示する ⑦経営における課題とチャンスの明確化を行う
環境管理責任者	①環境経営システムの構築、運用の責任と権限を有する ②運用状況全体を把握し、社長へ報告する
事務局	①環境経営システムの構築、運用に関して管理責任者を補佐する ②環境経営システムに関する記録を保持する ③外部内部からの問合せ、苦情等の窓口業務を行う
部門責任者	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関する活動を実行する ②環境管理責任者の指示事項を実行する
EA21 推進委員	①部門における活動状況の報告を行う ②部門での EA21 活動を推進する
従業員	①部門長からの指示事項について実行する

3. 環境経営方針

IAアクション 21

環境経営方針

環境理念

環境保全が社会共通の最重要課題の一つであることを認識し、当社の経営理念に基づき環境に配慮した商品
を維持、改善するとともに環境保全に努める活動に取り組む。

基本方針

鉄道、道路関連分野での通信機器、システム等の情報連絡機器の設計、製造、販売並びに工事を事業の
柱とし、以下の方針に基づいて環境経営を行う。

1. 環境負荷低減を図る為、環境経営システムを構築し、継続的改善を図ると共に環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守する。
3. 環境負荷低減の為、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組む。
 - 1) 省エネルギー（電力、化石燃料）を推進し、二酸化炭素排出量低減を図る。
 - 2) 廃棄物発生量の低減と3R（Reduce 削減、Reuse 再利用、Recycle 有効利用）を推進する。
 - 3) 資源の有効活用を推進し、水、紙の使用量低減を図る。
 - 4) 化学物質使用（シンナー）の適正管理を推進する。
 - 5) 環境負荷低減に関する改善活動を推進する。
 - ①環境配慮設計の推進
 - ②コストダウンV Eの推進
 - ③グリーン購入の推進
 - ④工程内仕損の低減
4. 環境経営方針は全従業員に周知し、環境意識向上に努める。

制定：2019年12月1日

改訂：2022年12月1日

旭光通信システム株式会社
代表取締役社長 酒井 元晴

4. 環境経営目標

4.1 中期環境経営目標

基準は2021年（76期）とする

取組項目	単位	部門	2021年実績 (基準)	2022年目標	2023年目標	2024年目標		
CO ₂ 排出量削減	Kg-CO ₂	全体	193,790	153,225	209,799	205,149		
電力使用 量削減	*2 排出 係 数	0.441	Kwh	全体	315,298	300,956	335,451	327,772
		0.521		本社	31,491	31,176	30,862	30,546
		0.318		*1 八戸	279,734	265,747	299,260	293,275
		0.601		大阪	2,738	2,711	2,683	2,656
				北海道	1,335	1,322	1,308	1,295
ガリの購入量削減	ℓ	全体	15,282	15,051	16,224	16,060		
		本社	9,535	9,439	9,344	9,249		
		*1 八戸	3,898	3,781	*2 5,068	*2 5,017		
		大阪	1,849	1,831	1,812	1,794		
灯油購入量削減	ℓ	八戸	1,439	1,410	400	0		
一般廃棄物削減	Kg	全体	1,413	1,343	1,398	1,371		
		本社	383	375	368	364		
		*1 八戸	1,030	978	*2 1,030	*2 1,007		
産業廃棄物削減	Kg	全体	6,672	4,558	4,437	4,304		
		本社 工事含む	3,858	1,800	1,736	1,659		
		*1 八戸	2,814	2,758	2,701	2,645		
水使用量削減	m ³	*1 八戸	620	614	614	614		
OA紙購入量削減	枚	全体	290,000	284,200	278,500	272,500		
		本社	112,500	78,400	77,000	74,500		
		八戸	177,500	205,800	201,500	198,000		
化学物質購入量削減	ℓ	八戸	4	維持	維持 (トリエン2L以下)	維持 (トリエン2L以下)		
グリーン購入の推進	品目	総務	5	10品目追加	グリーン製品の優先購入	グリーン製品の優先購入		
環境配慮設計の推進	件	技術	3	6	7	8		
仕損の低減	千円	生管	123	117	111	105		

*1 八戸に第二工場を含む。 *2 排出係数は、R4.1.7 環境省・経済産業省公表、R4.2.17 一部修正による。

【主な施策】

(1) 二酸化炭素排出量の削減

不使用時電力削減策の徹底、エアコンの運用管理、エコドライブの啓蒙、社有車の適正使用など

(2) 廃棄物排出量の削減

仕損/工場工程内不良の削減、3R活動の推進、有価物への転換、ペーパーレス/電子化など

(3) 水使用量の削減

節水意識の喚起など

(4) 化学物質使用量の削減

トルエンレス剤への変更検討

(5) 環境改善

製品の環境配慮設計など

5. 環境経営計画

スローガン： 私たちは、CO₂排出ゼロを目指します

No.	取組項目	取組む内容	日程	責任者
1	電力使用量削減	・エアコンの運用管理 ・クールビズ、ウォームビズの展開 ・循環扇/サーキュレーターの活用 ・ドレインヒーター調節器の設置（八戸）	月度管理（エコアクション21活動実施表による）	本社、八戸：総務部長 大阪、北海道：営業所長
2	ガソリン購入量削減	・エコドライブの啓蒙 ・社有車の適正使用 ・社有車の更新		本社、大阪：営業課長、営業所長 八戸：総務部長
3	灯油購入量削減	・暖房機器の適正使用 ・エアコン暖房への切換え		八戸：総務部長
4	一般廃棄物削減	・分別（リサイクル）の推進		本社、八戸：総務部長
5	産業廃棄物削減	・3Rの推進 ・処理業者での分別推進（本社） ・有価物への転換（八戸）		本社、八戸：総務部長
6	水使用量削減	・節水の啓蒙		八戸：総務部長
7	OA紙購入量削減	・ミスコピー防止啓蒙 ・社内文書のペーパレス化の推進 ・電子化の推進		本社、八戸：総務部長
8	化学物質購入量削減	・購入量の見直し ・代替品の検討		生産管理部長
9	グリーン購入の推進	・文房具/生活用品のグリーン購入推進		総務部長
10	環境配慮設計の推進	・小型化製品の設計 ・軽量化製品の設計 ・省電力製品の設計 ・環境へ配慮した仕様の提案		技術部長
11	仕損の低減	・仕損不良削減策の実施		生産管理部長




赤字：2023年に追加した取組内容

6. 環境経営目標の達成状況と今後の取組み

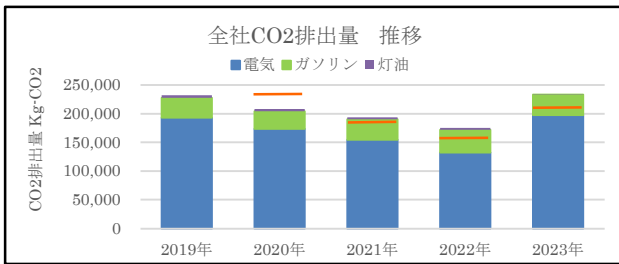
達成率での評価。評価：100%以上“○”、99~80%“△”、80%未満“×”

取組項目	単位	部門	2021年実績(基準)	2023年目標	2023年実績	達成率%	評価		
CO ₂ 排出量削減	Kg-CO ₂	全体	193,790	209,800	234,665	89	△		
電力使用量削減	排出係数	0.441	KWh	全体	315,298	334,113	386,571	86	△
		0.521		本社	31,491	30,862	31,352	98	△
		0.318		八戸	279,734	299,260	350,909	85	△
		0.605		大阪	2,738	2,683	2,596	103	○
				北海道	1,335	1,308	1,714	76	×
ガソリン購入量削減	L	全体	15,282	16,224	15,427	105	○		
		本社	9,535	9,344	8,879	105	○		
		八戸	3,898	5,068	5,017	101	○		
		大阪	1,849	1,812	1,531	118	○		
灯油購入量削減	L	八戸	1,439	400	149	269	○		
一般廃棄物削減	Kg	全体	1,413	1,398	1,394	100	○		
		本社	383	368	309	119	○		
		八戸	1,030	1,030	1,085	95	△		
産業廃棄物削減(本社は工事含む)	Kg	全体	6,672	4,437	4,079	109	○		
		本社	3,858	1,736	1,010	172	○		
		八戸	2,814	2,701	3,069	88	△		
水使用量削減	m ³	八戸	620	614	604	102	○		
OA紙購入量削減	枚	全体	290,000	278,500	254,500	109	○		
		本社	112,500	77,000	62,500	103	○		
		八戸	177,500	201,500	192,000	103	○		
化学物質購入量削減	L	八戸	4	維持	4	100	○		
グリーン購入の推進	品目	総務	5	グリーン製品の優先購入	55% (グリーン製品購入率)	-	-		
環境配慮設計の推進	件	技術	3	7	10	143	○		
仕損の低減	千円	生管	123	111	91	122	○		

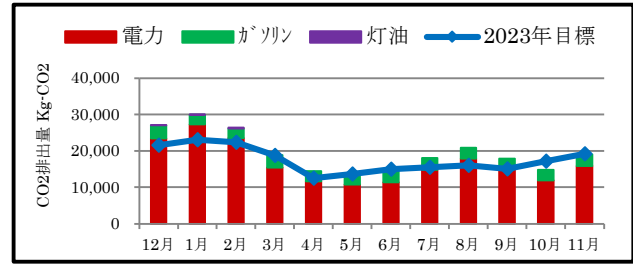
6.1 二酸化炭素排出量

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
209,800Kg-CO ₂	234,665Kg-CO ₂	89% / △	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。 ・排出量の85%が電気使用によるもの、その内92%が第二工場を含む八戸事業所が占めており、目標設定に問題があった。 ・二酸化炭素排出に起因する電気は1/4拠点、ガソリンは3/3拠点、灯油は1/1拠点の達成状況でした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンなど省エネ設備への転換を推進します。 ・電気使用が二酸化炭素排出量に大きく寄与する為、省エネ行動を啓蒙します。 	




【年度別推移】 — : 目標ライン



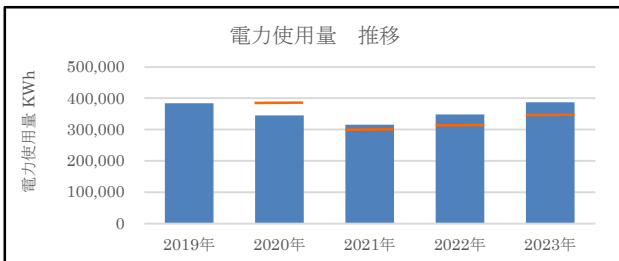
【2023年 実績推移】



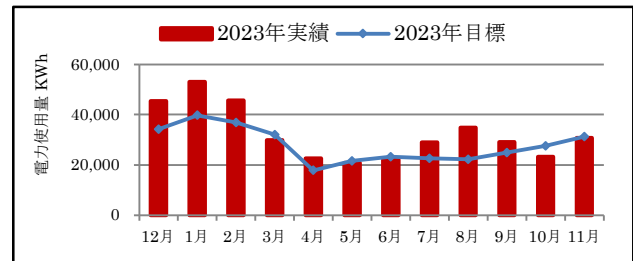
6.2 電力使用量

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
372,002KWh	386,571KWh	85% / △	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成。(大阪：達成、本社、八戸、北海道：未達成) ・八戸は第二工場分の目標設定、北海道は人員増による増加がありました。本社は猛暑による影響がありました。 ・大阪の猛暑による影響下での達成は評価できます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン使用は引き続き始業/終業 30 分前の ON/OFF を意識します。 ・循環扇/サーキュレーターを活用を行います。 ・浄化槽曝気プロアのインバータ化を行います。(八戸) ・エアコンの更新を計画します。 	

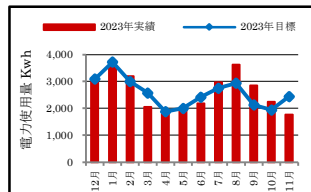
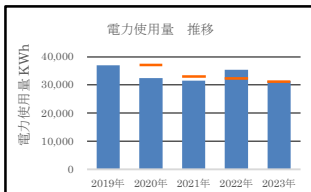
【年度別推移】 — : 目標ライン



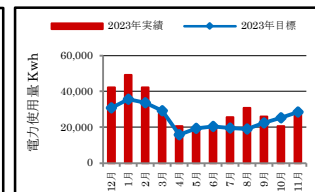
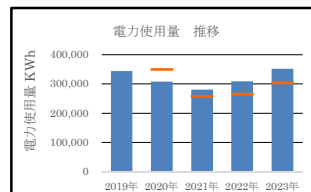
【2023年 実績推移】



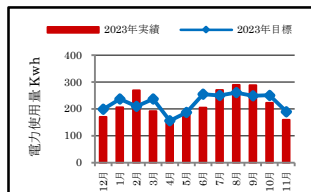
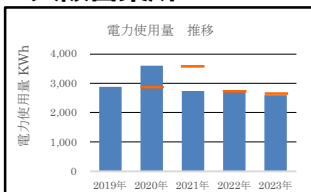
【拠点別推移】 — : 目標ライン
〈本社〉



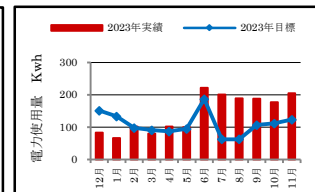
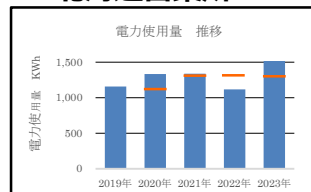
〈八戸〉






〈大阪営業所〉



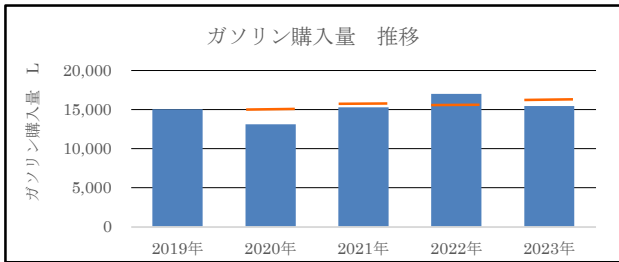
〈北海道営業所〉



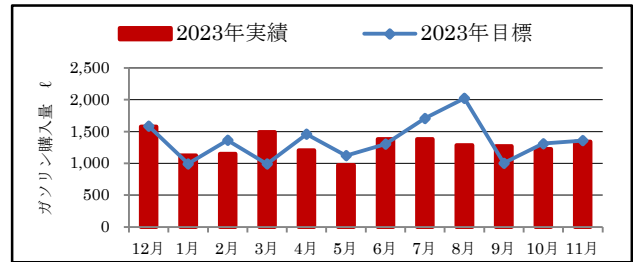
6.3 ガソリン購入量

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
16,224 L	15,427 L	105 % / ○	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。(全拠点達成) ・省エネ運転の啓蒙、八戸においては遠距離での公共交通機関の利用など、意識して活動しました。 ・大阪営業は本社からHVを移管し更新しました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの啓蒙を継続します。 ・車の適正運用（遠距離使用での考慮）及び効率的運用を考慮します。 	

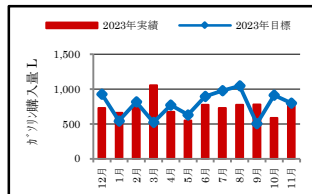
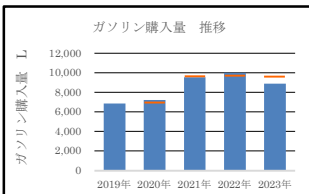
【年度別推移】 — : 目標ライン



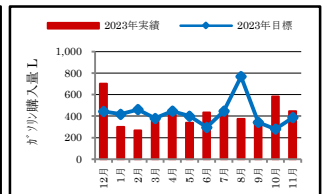
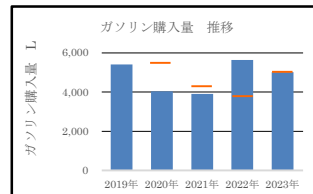
【2023年実績推移】



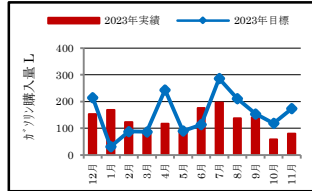
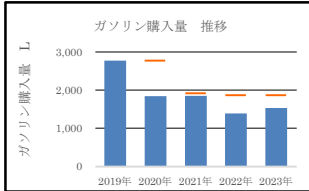
【拠点別推移】 — : 目標ライン
【本社】






【八戸】



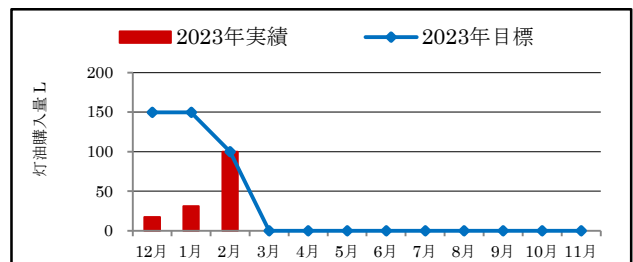
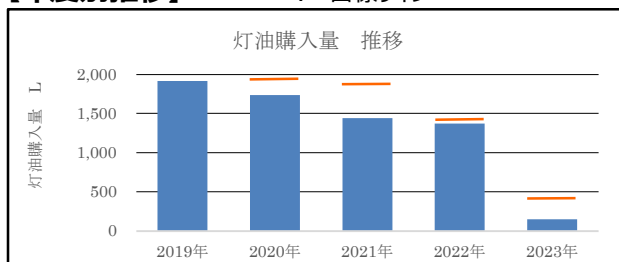
【大阪営業所】



6.4 灯油購入量

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
400 L	149 L	269 % / ○	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。 ・来期以降、エアコンへの切り替えを行うため、最低限の購入量を意識しました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・灯油暖房からエアコンへの切り替えを行い、灯油購入を廃止します。 	

【年度別推移】 — : 目標ライン

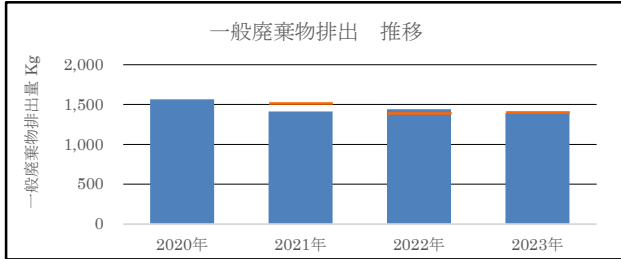


6.5 廃棄物排出量

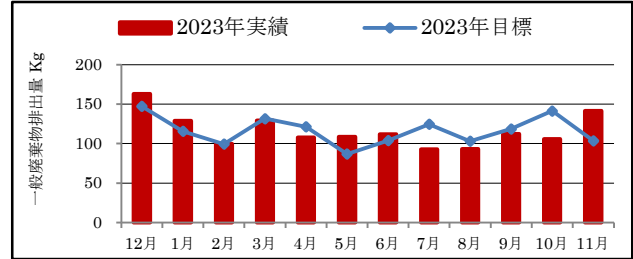
6.5.1 一般廃棄物

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
1,398Kg	1,394 Kg	100 % / ○	11 持続可能な消費と生産 12 資源効率
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。(本社:達成、八戸:未達成) ・八戸は12月に分別の不徹底があり、是正を行い、関連する省資源化管理規程の再周知を行いました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き廃棄物の分別を行います。 	

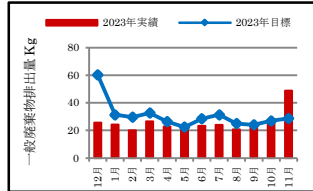
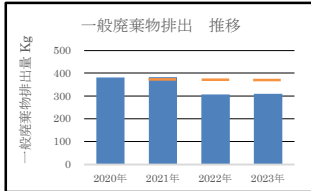
【年度別推移】 — : 目標ライン



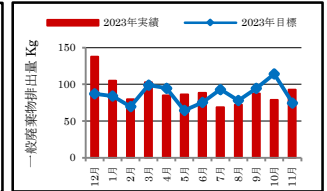
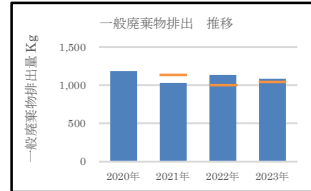
【2023年実績推移】



【拠点別推移】 — : 目標ライン
(本社)



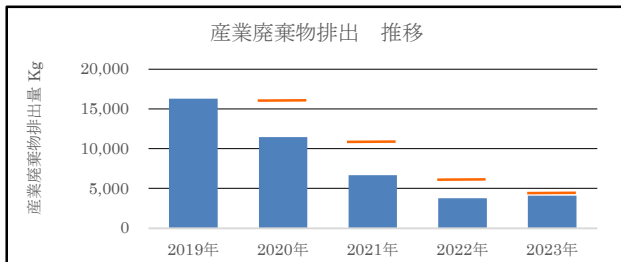
(八戸)



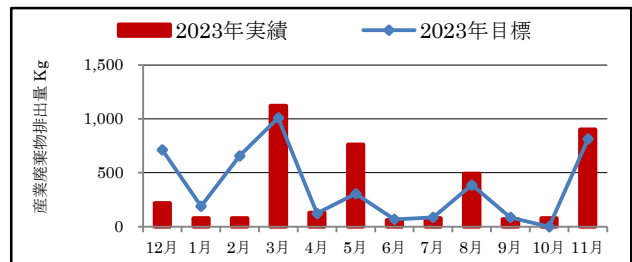
6.5.2 産業廃棄物

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
4,437Kg	4,079 Kg	109 % / ○	9 産業と資源効率 11 持続可能な消費と生産 12 資源効率
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。(本社:達成、八戸:未達成) ・廃棄物から有価物への転換として、電線、基板など 276Kg の売却を行いました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き有価物への転換を推進します。 	

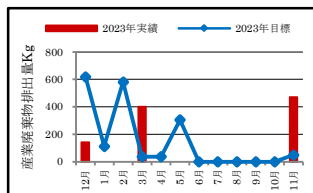
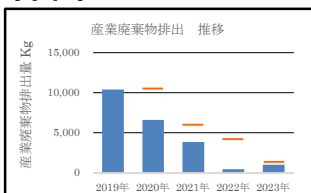
【年度別推移】 — : 目標ライン



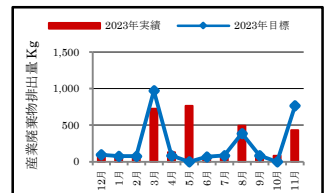
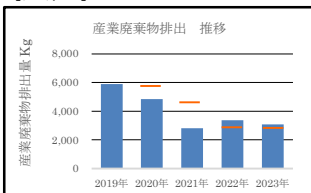
【2023年実績推移】



【拠点別推移】 — : 目標ライン
(本社)




(八戸)

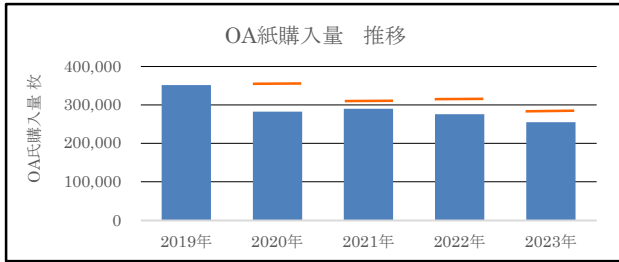


6.6 省資源

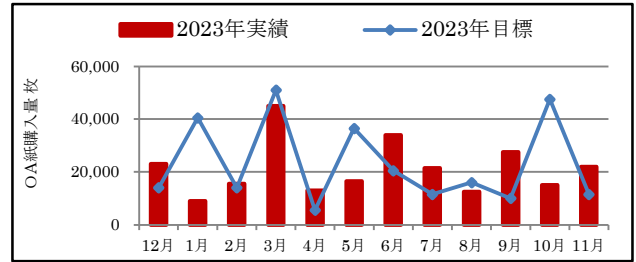
6.6.1 OA紙購入量

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
278,500 枚	254,500 枚	109 % / ○	
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。(本社、八戸とも目標達成) ・展示会での資料を紙ベースから QR コード導入による資料の提供を行い、削減を図りました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ミスコピーは引き続き啓蒙を継続します。 	

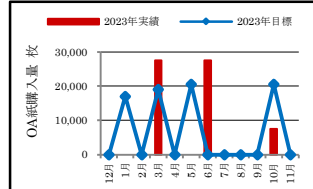
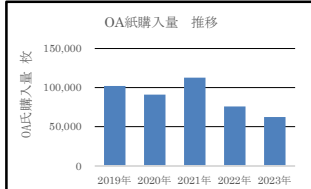
【年度別推移】 — : 目標ライン



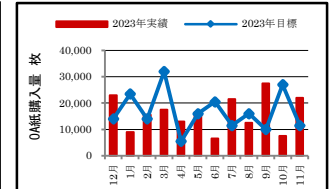
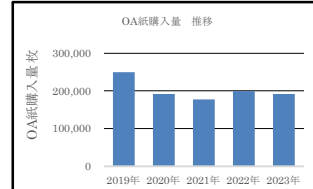
【2023年 実績推移】



【拠点別推移】 — : 目標ライン
〈本社〉



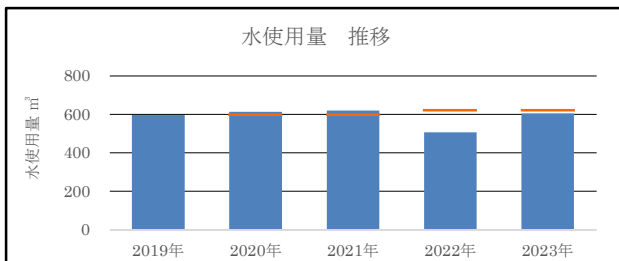
〈八戸〉



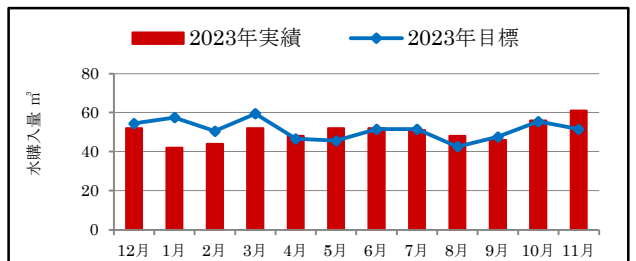
6.6.2 水使用量

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
614 m ³	604 m ³	102 % / ○	
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。 ・水使用はトイレ、生活水が主な為、掲示などで節水の啓蒙活動を行いました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き啓蒙活動を継続します。 	

【年度別推移】 — : 目標ライン



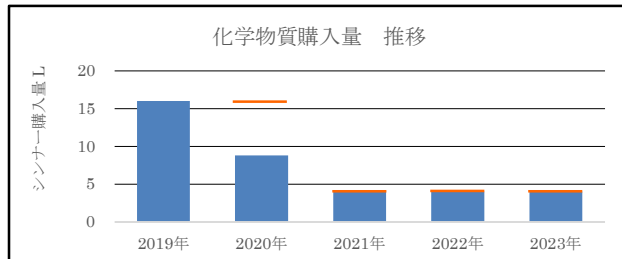
【2023年 実績推移】



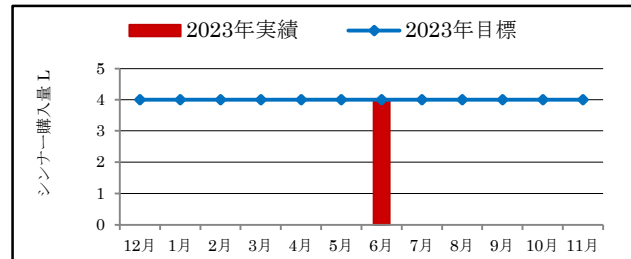
6.7 化学物質購入量 — : 目標ライン

2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
4 L	4 L	100 % / ○	
結果		今後の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。 ・製品としてシンナーがあるが、素材の洗浄用として使用しており、最小限の購入と代替品の選定を行いました。 ・代替品の選定は費用対効果で採用を見送りとしました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き管理対象物質はシンナーに含まれるトルエンの為、トルエンに着目した選定を行います。 	

【年度別推移】 — : 目標ライン



【2023年 実績推移】



6.8 各部門の環境改善実績

達成率での評価。評価：100%以上“○”、99~80%“△”、80%未満“×”

【総務部】

改善項目	2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価
グリーン調達推進	グリーン製品の優先購入	グリーン製品購入率 55 % (313/569)	-
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・推進活動の為、評価外 ・総務管轄の物品はグリーン製品を意識しての手配を行いました。が、購入ルートが作成できず、各部門にグリーン製品の購入を呼びかけることができませんでした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・購入ルートを作成し、部署ごとに意識的にグリーン製品を購入できるようにします。 	

【技術部】

改善項目	2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価
環境配慮設計の推進	7件	10件	143 % / ○
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。 ・設計者一人一人が目標を意識して行動できました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・提案の段階から参考製品に捕らわれず、環境に対する配慮を意識して、設計思想を持ち取り組んでいきます。 	

【生産管理部】

改善項目	2023年(78期)目標値	実績	達成率/評価
仕損費の低減	111千円	91千円	122 % / ○
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成。 ・発生件数としては前期 63 件に対して 73 件と増加したが、損失金額は減少しています。 ・件数は製造が 68%を占めるが、仕損費は 58%を板金が占めています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・不良は無駄な費用が発生していることを念頭に活動計画を立案し、取り組みます。 	

6.9 その他の環境関連活動

地域活動：八戸ハイテクパーククリーン作戦への参加	敷地内活動：清掃活動と旭光農園
八戸グリーンハイテクランド内および周辺の清掃活動に参加し、ハイテクパークの環境美化に貢献しました。	八戸事業所内の清掃活動と旭光農園を整備し環境維持に努めました。
	

6.10 環境経営目標及び環境経営計画の総括

総括	評価
<p>中期環境経営目標の2年目として八戸事業所第二工場分を加味した目標設定を行い活動しました。目標は2022年12月から2023年4月までは従来を踏襲し、5月以降は第二工場稼働後の実績を考慮した設定としました。</p> <p>環境経営目標の結果としては、評価対象24項目中100%以上が17項目、80%以上が6項目、80%未満は1項目となり、達成状況は昨年より向上しました。全体のCO₂排出量は達成率89%で未達成となりましたが、第二工場稼働による電気の増加に対する目標設定に問題がありました。CO₂排出の内訳は電気が85%、うち八戸事業所が92%を占めており、CO₂排出削減には八戸事業所の電気量削減が必須となります。他、電力は本社が98%、北海道が76%の達成状況ですが、本社は猛暑による影響、80%未満の達成率となった北海道は人員増加の影響があります。前回、経営者による見直しで指摘があったガソリンは全拠点で達成、その他、八戸の一般廃棄物が95%、産業廃棄物排出が88%と未達成の状況でした。一般廃棄物は分別の問題があり是正を行いました。産業廃棄物は有価物への転換を進めましたが未達成となりました。部門の改善活動は、生産、技術とも目標達成となりました。</p> <p>環境経営計画の総括としては、「CO₂排出ゼロ」に向けた工程表に基づき、省エネ機器の導入及び更新と推進委員を中心とした人による省エネ行動を展開しました。計画に対する実施状況は、八戸事業所においては12月工場排水凍結防止ヒータ節電器の設置、7月サーキュレーターの導入、11月エアコン8台の更新/女子更衣室への新設、大阪は本社社有車(HV社)の移管による更新を行いました。計画に対しては八戸事業所の浄化槽曝気ブローアのインバータ化が来期に繰り越となりました。女子更衣室のエアコン新設により来期は灯油の購入をゼロとする計画です。その他、OA紙購入削減の新たな取組として展示会資料を紙ベースからQRコード導入による資料提供を行いました。</p> <p>来期も「CO₂排出ゼロ」に向けた工程表に基づき計画を実行していきます。2024年は中期経営目標の最終年となりますが、八戸第二工場の1年間の実績データの反映、北海道の人員増及び営業所移転計画、本社移転に伴う関連項目の目標見直しを行います。</p>	○

6.11 2024年(79期)目標値検討

赤字が見直し箇所

取組項目	単位	部門	2021年実績 (基準)	2022年目標	2023年目標	2024年目標
CO ₂ 排出量削減	Kg-CO ₂	全体	193,790	153,225(21%減)	209,800(8.3%増)	220,496(14%増)
*1 電力使用量削減	Kwh	全体	315,298	300,956(4.5%減)	334,113(6%増)	355,663(13%増)
		本社	31,491	31,176	30,862	21,993
		八戸	279,734	265,747	299,260	328,100
		大阪	2,738	2,711	2,683	2,656
		北海道	1,335	1,322	1,308	2,914
ガソリン購入量削減	ℓ	全体	15,282	15,051(1.5%減)	16,224(6%増)	16,060(5%増)
		本社	9,535	9,439	9,344	9,249
		八戸	3,898	3,781	5,068	5,017
		大阪	1,849	1,831	1,812	1,794
灯油購入量削減	ℓ	八戸	1,439	1,410(2%減)	400(72%減)	0(100%減)
一般廃棄物削減	Kg	全体	1,413	1,342(5%減)	1,398(1%減)	1,371(3%減)
		本社	383	375	368	364
		八戸	1,030	978	1,030	1,007
産業廃棄物削減 (本社は工事含む)	Kg	全体	6,672	4,558(32%減)	4,437(33%減)	4,304(35%減)
		本社	3,858	1,800	1,736	1,659
		八戸	2,814	2,758	2,701	2,645
水使用量削減	m ³	八戸	620	614(1%減)	614(1%減)	614(1%減)
OA紙購入量削減	枚	全体	290,000	284,200(2%減)	278,500(4%減)	272,500(6%減)
		本社	112,500	78,400	77,000	74,500
		八戸	177,500	205,800	201,500	198,000
化学物質購入量削減	L	八戸	4	維持	維持(トリエチレングリコール2L以下)	維持(トリエチレングリコール2L以下)
グリーン購入の推進	品目	総務	5	10品目追加	グリーン製品の優先購入	グリーン製品の優先購入
環境配慮設計の推進	件	技術	3	6	7	8
仕損の低減	千円	生管	123	117(5%減)	111(10%減)	105(15%減)

7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果

7.1 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果

法規制	内容	確認結果	評価
消防法	①消防設備の定期点検 ②消防訓練実施	①八戸は5月、11月に点検を実施し異常はありませんでした。本社は7月、北海道は7月、9月、大阪は11月にビルにて点検を実施しています。 ②本社は5月、11月に訓練を実施し手順に問題はありませんでした。八戸は冬期間の実施を計画します。	遵守
産業廃棄物処理法	①許可証の有効性 ②マニフェスト交付保管 ③マニフェスト交付等状況報告書	①許可証の有効期限切れはありませんでした。 ②マニフェストの保管に問題はありませんでした。 ③本社、八戸とも期限内に提出され問題ありませんでした。	遵守
浄化槽法	①法定検査実施 ②保守点検	①八戸及び設計棟は2023年1月、第二工場は12月に検査を実施し水質等に異常はありませんでした。 ②八戸及び設計棟は2022年12月、2023年3月、6月、9月、第二工場は2023年1月、3月、5月、7月、9月、11月に保守点検を実施し、必要事項に対しては処置を行いました。	遵守
騒音規制法	①自治体への届出 ②規制基準の遵守	①必要な届出はありませんでした。 ②八戸市の規制値内(第4種区域)を確認しました。	遵守
振動規制法	①自治体への届出 ②規制基準の遵守	①必要な届出はありませんでした。 ②八戸市の規制値内(第2種区域)を確認しました。	遵守
水質汚濁防止法	①貯油施設の自主点検	①2022年12月、3月、6月、9月に自主点検を実施し異常はありませんでした。	遵守
エネルギーの使用の合理化等に関する法律	①エネルギーの使用合理化	①CO2削減 21 活動実施表により実績を把握していました。	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	①事業活動に伴う排出抑制	①CO2削減 21 活動実施表により実績を把握していました。	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律	①リサイクルルートに従った廃棄	①対象品はありませんでした。	遵守
特定家庭用機器再生商品化法	①法律に基づく処理	①対象品はありませんでした。	遵守
使用済み自動車の再資源化等に関する法律	①法律に基づく処理	①対象車はありませんでした。	遵守
ポンプ類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	①エアコンの簡易点検 ③ 法律に基づく処理	①2022年12月、2023年3月、6月、9月に簡易点検を実施し問題はありませんでした。 ②対象品はありませんでした。	遵守
労働安全衛生法	①特定自主検査 ②月次自主検査	①5月、6月にフォークリフトの特自検を実施し異常はありませんでした。 ②フォークリフトの月次検査で異常はありませんでした。	遵守

7.2 環境関連法規制に関する最新版確認結果

確認結果	評価
年4回(2月、5月、8月、11月)に改正状況の確認を行った結果、22件の法律/政令/省令、8件の条例/規則の改正がありました。当社の事業活動に直接影響を及ぼす改正はありませんでした。	○

7.3 外部コミュニケーションの結果

確認結果	評価
2022年12月～2023年11月までの期間において本社及び工事関連、八戸事業所、大阪営業所、北海道営業所において、苦情はありませんでした。	○

8. 経営者による評価と見直し指示

8.1 前回の指示に対する取組み結果

見直し項目	前回の見直し指示内容	指示内容に対する取組み結果
環境経営方針	・環境方針 2 項の表記について見直しして下さい。(審査時の対応)	・2022/12/01 に環境方針 2 項の表記について「環境法規制等」に変更しました。
環境経営目標及び環境経営計画	・ガソリン使用料が急激に増えていることは環境側面から、過去の実績からみたら数値も異常値を示している状況を見逃さず、よく分析し、早急に是正していく必要があります。	・ガソリンの大幅な増加は自然災害による公共交通機関の不通や営業活動の活発化、第二工場への往來の増加が要因としてありました。特に八戸の増加に対しては遠距離での公共交通機関の利用など、意識した行動を行いました。今期の結果は全拠点目標達成となりました。
実施体制	・実施体制における社長の役割について見直しして下さい。(審査時の対応)	・実施体制の社長の役割②に「効果的で必要十分な実施体制を構築する」を追加しました。各部門のエコアクション 2 1 推進委員が関係します。

8.2 経営者による評価

経営者による評価
<p>2023 年（78 期）環境経営目標の達成状況は、電気使用量を除き活動の成果が出ています。CO₂ 排出削減においてガソリンは、本社、大阪の保有車両の見直し、灯油はエアコン転換を意識した購入量の削減の成果がありました。大きな課題は八戸事業所の電気使用量であり、ここは削減が必須です。11 月に八戸事業所本工場のエアコンの一部更新及び新設を行ったことにより、来期は電気使用量削減と灯油の廃止により CO₂ 排出削減につながることを期待しています。</p> <p>今後の全社の電気使用量削減の一環としては、八戸事業所第二工場への自家消費型ソーラーシステムの導入及び本工場のエアコン更新の継続実施、本社移転による削減を図っていきます。また、ガソリンの削減としては EV 軽貨物車の導入を計画していきます。その他 CO₂ 排出に関連する課題としては、業務に直結するものとして仕損や不適合があり、削減策を実施していきます。</p> <p>八戸事業所第二工場の本格稼働に伴い増加した総電気使用量を稼働前の水準まで削減すべく、各部門のエコアクション 2 1 推進委員を中心に環境経営計画の実施を全社員ひとり一人の参加による実効性のある活動を展開していきます。</p>

8.3 経営者による見直し指示

項目	評価	見直し指示内容
環境経営方針	活動の展開について概ね環境経営方針に沿った活動となっていることを確認しました。	○ ・方針の変更はありません。
環境経営目標及び環境経営計画	八戸事業所の電力量を除き活動の成果が出ていますと判断します。CO ₂ 排出に大きく影響する、八戸事業所の電気使用量は 11 月に実施した本工場の一部エアコンの更新による効果を期待します。ガソリンは保有車両の見直しの成果と判断します。	△ ・八戸事業所本工場のエアコン更新を継続して実施して下さい。 ・第二工場への自家消費型ソーラーシステムの導入計画を進めて下さい。 ・本社はレンタカー/カーシェアの移行に伴うガソリン購入量の把握方法を検討して下さい。 ・EV 軽貨物車の導入計画を立案して下さい。 ・業務に直結する顧客クレーム、社内不具合の是正を図って下さい。
実施体制	78 期も環境活動への取り組み体制に若手社員が積極的に参加し EA21 推進委員の活動に大きく貢献したことが成果に繋がりました。第二工場の信号エリアの管理者不在の状況がありましたが迅速に是正されました。	○ ・中途採用者も増えている中で活動の浸透を図って下さい。
その他	環境整備活動など継続的に実施されていることが確認できましたが、八戸事業所に限られた活動となっている側面が感じられました。	○ ・エコアクション 2 1 推進委員会で環境整備活動について議論し、本社、各営業所への展開を促して下さい。